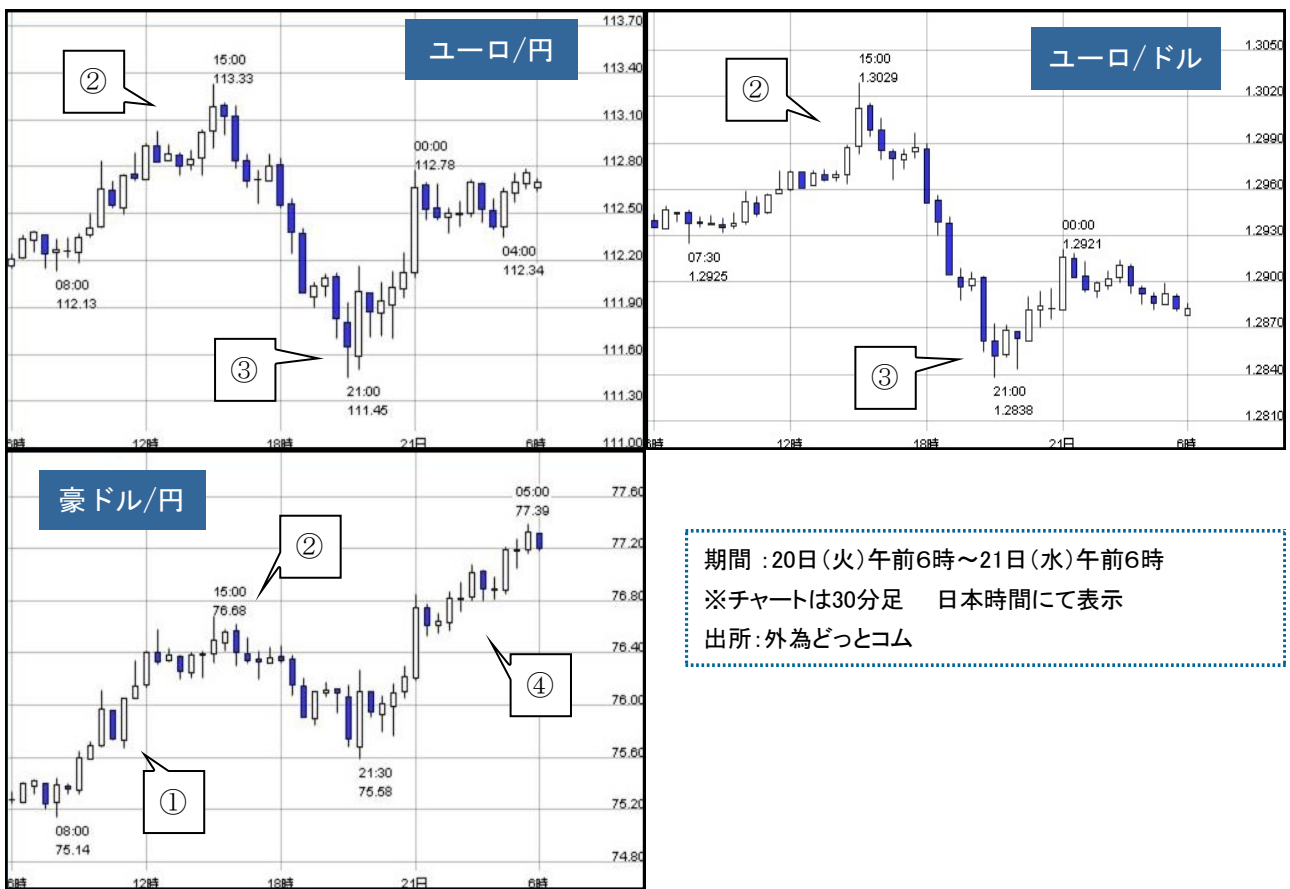


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

7月21日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

バーナンキFRB議長の証言に関心が集まる

20日(火)の主な推移



期間：20日(火)午前6時～21日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 豪準備銀行(RBA)議事録では「基調インフレ率は3%を下回ると予想」など、金利先高観を後退させる内容が嫌気され、発表後豪ドル/円は弱含む場面が見られた。しかしその後、本邦市場や上海市場での株高に加え、スティーブンスRBA総裁が「豪中銀理事会は総選挙に関係なく職責を果たす」などと伝えたことが手掛かりとなり、豪ドル/円は上値を試す展開が続いた。
- ② 上海株式市場の上昇により市場ではリスクに対して積極的となる動きへとつながり、また欧州勢がドル売りで参入したことにより、15時過ぎにユーロ/円は113.33円、ユーロ/ドルは1.3029ドル、豪ドル/円は76.68円まで、それぞれ上昇した。
- ③ 米ゴールドマン・サックスの決算が事前予想を下回り、市場ではリスクに対して消極的となるムードの中、欧州での株安やハンガリー政府が行った3カ月証券入札が不調に終わったことにより、21時過ぎにユーロ/円は111.45円、ユーロ/ドルは1.2838ドルまでそれぞれ下落した。
- ④ 本日予定のバーナンキ連邦準備制度理事会(FRB)議長の証言に関し、市場では追加の金融緩和への期待が台頭。これにより米ダウ平均株価が反発に転じたことに伴い、豪ドル/円は77.39円まで上昇。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2720-1.2980ドル
 ユーロ/円 : 111.50-113.60円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 75.80-78.30円

昨日の欧州時間でのユーロの値動きは株価に影響を受けたことから、本日も昨日に続き、主要国の株式市場に左右されやすい展開が見込まれる。

そのほか今週末に発表が予定されてる欧州のストレステストや、先週19日に国際通貨基金(IMF)と欧州連合(EU)との協議が一旦打ち切られたことによるハンガリーの財政問題の行方などが引き続き市場の関心を集めており、共に市場に不安を与える材料が出た場合、ユーロ売りの材料として反応することが予想される。(川畑)

本日の豪ドル/円相場は、主要国の株価に左右されやすい展開が予想される。昨日は豪中銀(RBA)の議事録が公表されたものの、それよりも特にNY市場における株高が豪ドル/円上昇の主因として考えられることから、本日も株価の動向には意識したい。

また、昨晚の米株反発はバーナンキFRB議長の議会証言にて、追加の金融緩和が出るとの思惑がきっかけとなった点を考慮すると、議長の議会証言にも注意したい。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/21(水)	17:30		(英) BOE 議事録	—	—
	21:00	○	(米) ウェルズ・ファーゴ第2四半期決算	—	—
	21:00	○	(米) モルガン・スタンレー第2四半期決算	—	—
	27:00	◎	(米) バーナンキFRB議長の議会証言	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。